

がよければ自然に増えるし、お客さまが増えれば、売り上げも上がります。だからこそ、単純作業としての事務手続きというよりは、「会社の顔」として、日々業務を行うよう心掛けています。

**スタッフを指導する立場にいる真央さんが、
普段お仕事でスタッフに対して
気をつけていること、意識していることを
教えてください。**

なるべく、仕事だけではなく、プライベートな話をするを心掛けています。特別にプライベートで、めちゃくちゃ仲良くするとかではないですが、「仕事だから、あなたが必要です。」というよりは、「あなた自身が必要です」ということを伝えるために、プライベートなことを聞いたり、他愛もない話をするを大切にしています。そう言ったことを、きちんと伝えることで、その人自身の「自己肯定感」が上がり、モチベーションに繋がります。私自身、スタッフのモチベーションを上げることも、私の仕事のひとつと捉えており、意識するよう気をつけています。

**株式会社 OnLine で一番印象に残る
出来事を教えてください。**

たくさんあって、絞るのが難しいですね（笑）。嬉しかったことは、お客さまが本講座へお申込後、キャンセルしたいというお話があり、直接相談に乗った後、キャンセルはせずに本講座受講されたことありました。その後、「やっぱり、本講座受けてよかったです。」と言われたときは嬉しかったし、良かったなと思いました。

社内での出来事だと、一つすごく覚えてることがあります。それは入社1年ぐらい経って、仕事もいろいろできるようになってきた時に、ある受講生からの問い合わせが来ました。その問い合わせに対して回答したメール文章を見た代表の白石さんに、名指して「あのメールはないんじゃない？」とフィードバックされたことです。その時は、悔しくて、トイレから3時間出れないぐらい泣いたことを、今でもたまに思い出します。

あのときは、1年間頑張ってきたのがなんだっただろう、と思うくらい悔しかったです。だけど、不思議と会社を辞めようとは、思いませんでした。私負けず嫌いなんです。私がこの会社を辞めるときに、会社から「辞めないで」と言われるぐらい必要な存在になるとその時に決めました。私自身、入社1年ぐらい経って、自分ができるようになったつもりで、惰性になっていた部分もあったかもしれませんが。そんな時に、白石さんから言われたフィードバックを一回受け止めることで、それにちゃんと気づけました。

それからは、どんな仕事をするにしても、慎重に物事を見れるようになりました。メールを返す時にも、正解に近い回答があるんじゃないか、もっといい言い回しがあるんじゃないか、と文章を作成後にもう1度チェックし改善するようになりました。

**真央さんから見て、株式会社 OnLine は
どんな会社だと思いますか。**

何でも、チャレンジができる環境のある会社です。本当にやりたいことを「ダメ」と言われることは基本ありません。自分がやりたいと言ったら、全力でみんな応援してくれる。そういうのはやっぱりすごいと思いますね。自分の実力を本当に試せるし、やりたいことをやりたいだけやれる環境があるからこそ、すごくチャレンジできる環境だなと思います。

**最後に、株式会社 OnLine を
どんな会社にしたいですか？**

代表の白石さんが昔から言っていることがあります。それは、株式会社 OnLine で働いてることが自慢になるような会社。その考えはとても素敵だなと感じたので、人から「いい会社で働いてるね」と言われるような会社にしたいです。

あとは、「事務職です」と言うと、多くの方が、簡単で働きやすいみたいなイメージがあると感じています。そこだけを変えたいなと思っていて、「株式会社 OnLine で事務をしています」と言ったら、「すごい良い会社で働いてて、一流のビジネスパーソンなんだね」と言われるような環境にしたいです。